

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	小児腫瘍専門医コース（正規課程）（テーマ③）
対象職種・分野	医師・小児腫瘍
修業年限（期間）	4年間
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん診療における臨床と基礎研究において解決すべき課題を抽出し、それを解決する方法を自らのアイデアで計画と実践ができ、小児がん拠点病院や小児がん診療病院においてリサーチマインドをもって小児がん医療を実践できる医師。 ・包括的ゲノム解析や免疫学的解析を実践でき、遺伝性腫瘍への対応・腫瘍免疫療法と分子標的療法の探索などの新ニーズに対応して小児がん診療を実践できる医師。
修了要件・履修方法	必修科目を含む医学履修課程の系統講義コース4単位以上、トレーニングコース20単位以上、アドバンスド講義2単位以上、計30単位以上を取得して、論文研究に合格すること。
履修科目等	<p><必修科目>臨床腫瘍学特論Ⅰ、Ⅱ*（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特論（4単位）、論文研究（10単位）</p> <p><選択科目>腫瘍関連学際領域特論（2単位）、次世代腫瘍予防学特論（2単位）、臨床腫瘍研究開発学特論（2単位）、がんプロ合同セミナー#（2単位）、がん医科学セミナー（2単位）ほかコア科目系統講義コース科目・トレーニングコース科目・アドバンスド講義科目、がんプロ科目トレーニングコース科目。*ゲノム医療、希少がん、小児がん、次世代腫瘍予防、腫瘍研究開発に対応、#遺伝子診療部教育セミナー、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む。</p>
がんに関する専門資格との連携	小児血液・がん専門医（日本小児血液・がん学会）、血液専門医（日本血液学会）の研修施設として認定されている。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ・小児腫瘍において、豊富な臨床検体を用いた包括的ゲノム解析による分子病態の解明と分子標的療法の探索（新規性）、原発性免疫不全症に合併する小児腫瘍の免疫学的解析を基盤とした腫瘍免疫療法の提唱（独創性）などから博士研究テーマを持つ。 ・小児腫瘍の講義やセミナーによって、小児腫瘍診療を広く理解する機会や研究指導を提供する。そのために受講者がWEB受講をスムーズに行える受講環境を整えている。
指導体制	・東北大学病院小児科・小児腫瘍科、小児外科、整形外科、脳神経外科、放射線治療科、放射線診断科、緩和医療科、遺伝科、東北メディカルメガバンク等の教授以下の教員が、各々の領域の専門分野において連携して指導する。
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地区の小児がん拠点病院や小児がん診療病院において次世代小児がん医療を普及できる医療従事者および研究者となる。 ・1～3年後に血液専門医、その2年後に小児血液・がん専門医を取得する。 ・小児腫瘍における病態解析を基盤とした個別化医療や新規治療法の開発を担う臨床研究者となる。